

ひだまり通信

理事長兼院長の挨拶

先日は突然の入院でご迷惑をおかけしました。

2~3年前より不整脈を患っていましたが、少々症状が強くなり、思い切ってカテーテル治療を受けました。近年確立され、日々進歩している新しい治療法です。手術は初めての経験でした。医師として、患者として、貴重な経験が出来ました。皆様に心より感謝致します。

私が日頃考えていることとお話し致します。

世の中はめまぐるしく変化していますね。通信機器一つをとっても、昔の固定電話から、ポケベル、携帯、スマホとあっという間に変わっていきました。

人工知能(AI)も、つい最近話題になり始めたと思ったら、急速に進化を遂げ、早くも普通に使われるようになってきています。アメリカIBMのワトソンという人工知能は、人間の医師がどうしてもわからなかった、珍しい疾患の病名と治療法を見つけました。車の自動運転化も確実に進んでいます。

将来の世の中はどうなっていくのでしょうか。日本は人口が減り続けています。100年後には人口は今の半分になっているかもしれません。私達の子供や孫の時代はロボットが身近となり、映画のような世界になっているのかもしれない。

医療も素晴らしく進化しました。私が医師になった35年前はまだCTやMRIも普及しておらず、脳外科という専門領域が初めて出来た頃でした。脳卒中の診断は見たり触ったりする理学的診察が中心で、とても難しいものでした。当時は胃の手術も命がけで、前日は家族を呼んで輸血用の血液をもらっていました。

病院のあり方、やり方もすっかり変わりました。若い人、働き手が減り、国の税収が減り、高齢者が増えました。医療も高度先進化し、どこでもだれでも、同じ医療を同じ負担で、という日本の誇る仕組みが崩れつつあります。年間一人で何千万円もかかる医療もあります。従来医療制度が変わるのは時代の流れでしょう。

長生きを追求するだけの医療から、病気の人、それを治す人も、協力しあい多様な幸せを追求する医療でしょうか。

お金や人手をかければいくらでも良い病院はつくれると思いますが、資本主義の日本では、質の確保、向上とともに経済的な自立つまり黒字経営も求められます。医療や世の中の進歩に対応しながら、効率よく、幸せを感じられる病院が理想です。

簡単なことではなく、とても大きなチャレンジですが、いろいろなことを考えながら病院運営をしたいと思います。

いつの日か、日本のトップランナーと言われるように、皆さんと共に医療のパイオニアを目指すことが今の私の夢です。

